

「ダイビング」シラバス（授業計画）

総合学科 マリンスポーツ系列 2年 2単位

（1）概要・目標

具体的な資格取得の目標を提示し、生徒自身が目的意識、やる気を持って授業に参加できるよう心掛ける。

厚生労働省潜水士の資格取得を目標に学習する。

潜水士の資格取得を目指して専門知識の習得に努める。

気象・海象の知識を身に付け、海況を正確に判断して、安全に計画を立て実行できる能力を養う。

海洋関係の職業に就職できるよう、海洋に関する知識と技術を幅広く身につける。

（2）評価の観点

ア 成績評価

座学科目成績評価基準表

項目	割合	具体的な項目	割合	配点
授業への取り組み	20%	質問をしたか	20%	4点
		真剣に聴いているか	30%	6点
		出席点	50%	10点
自己評価	10%	別表参照	100%	10点
テスト点	50%	小テスト数（n回）	50/n%	25点
		定期テスト（m回）	50/m%	25点
ノート点	20%	内容で評価	100%	20点

※出席点

$=100 \times \{ \text{該当学期の授業時数} - (\text{欠課時数} \times 2) \} / \text{該当学期の授業時数}$

*欠席・欠課のうち、本人の責任にない事故等によるものは除く

イ 自己評価

学習自己評価表

今日のテーマ	得点無し	
真剣に聴いたか	25点	合計100点
質問はしたか	25点	
ノートはきちんと記入したか	25点	
楽しく取り組めたか	25点	
今日の反省・次回への課題等	得点無し	

（3）学期毎の目標および評価の観点

ア 1・2学期

潜水士の資格取得を目指し、専門知識と技術を学ぶ。上記の評価方法で評価する。

イ 3学期

潜水士の資格取得を目指し、ダイビングの応用知識と技術について学習する。上記の評価方法で評価する。

1年間で取得した資格や、これまでの取り組みの全体を通して評価する。

月	総時数	学 習 項 目	学 習 内 容	時数
4	1	1. 潜水業務	1) 潜水業務に関する基礎知識	1
	2			1
	3			1
	4			1
5	5		2) 潜水業務の危険性及び事故発生時の措置	1
	6			1
	7			1
	8			1
6	9		3) ヘルメット式潜水器	1
	10			1
	11			1
	12			1
	13			1
	14			1
	15			1
	16			1
7	17		4) フーカー式潜水器	1
	18			1
	19			1
	20			1
	21			1
	22			1
	23			1
	24			1
9	25		5) マスク式潜水器	1
	26			1
	27			1
	28			1
10	29		6) スクーバ式潜水器	1
	30			1
	31			1
	32			1
	33			1
	34			1
	35			1
11	36	2. 送気、潜降 および浮上	7) その他の潜水設備・器具	1
	37			1
	38			1
	39			1
12	40		8) 特殊環境での潜水	1
	41			1
	42			1
	43			1
	44			1
	45			1
	46			1

1	51	3. 高気圧障害	1) 潜水の生理学	1
2	52		2) 潜水による障害およびその対策	1
	53			1
	54			1
	55		3) 潜水者の健康管理	1
	56			1
	57			1
	58		4) 潜水業務に必要な救急処置	1
	59			1
	60			1
	61	4. 関係法令	1) 労働安全衛生法	1
	62		2) 労働安全衛生規則	1
	63		3) 高気圧作業安全衛生規則	1
	64			1
	65			1
	66			1
	67			1
	68			1
	69			1
	70			1